



出身大学・卒業年度：奈良先端科学技術大学院大学バイオサイエンス研究科 2009年 博士課程後期修了
博士論文タイトル：栽培イネにおける花成時期の多様性をもたらす分子機構の解析

現在の仕事について

◆ 担当職務

遺伝子組換え作物の認可取得業務

◆ キャリアパス

ドイツマックスプランク植物育種学研究所にてポストドク
やりがい：トップレベルの研究所で優秀な研究者たちと最先端の研究ができた事。

◆ 現在の会社・組織の魅力

世界における遺伝子組換え作物の作付面積は増加傾向にあり、これを取り巻く環境は大きく変化しています。このようにダイナミックに成長する業界で働く事で自分を成長させることができると感じています。

◆ 現在の就職を決めた理由

基礎研究分野のみにとどまらず、産業に近い分野にも興味があったため、これまでの経験を生かせる職場として民間企業を含め幅広く探していました。入社に至ったのは、ドイツにいる時に、研究室の先輩から現在の会社の求人情報を教えてもらったことが大きなきっかけとなりました。そして、これまでに勉強してきた分子生物学の知識、経験を十分に生かせることが就職を決めた大きな理由です。

◆ 将来設計（描けるキャリアパス）

グローバル全体の遺伝子組換え認可取得の管理や新規作物の開発に有用な基礎研究技術の発掘。

◆ 挑戦したいと思っていること

チャンスがあれば、アメリカ本社の研究所にて新規作物の開発に携わってみたいと思っています。

社会人として

◆ 一番感動したこと

アメリカ本社や他国の同僚と一緒に仕事をする事で、グローバルな規模での仕事に携われていることに感動しました。

◆ 仕事のプロになるコツ

私が教えて頂きたいくらいですが、少なくとも自分が期

待されている分子生物学分野の専門知識については、常に勉強するようにしています。

◆ 博士力、どこで発揮していますか？

遺伝子組換え作物の認可取得の過程では、バイテク分野の専門的な知識が必要とされる場面が多くあります。このような場面にて、これまで培ってきた経験や知識が発揮できていると思います。

人生について

◆ 何のために働くのですか？

私という人間が必要とされる場所を得るため。

◆ ご自分にとって、お金を稼ぐ意味

家族との生活

◆ ワークライフバランスで工夫していること

仕事と私生活のオンオフをはっきりさせることです。また、オフィスでの仕事が多いので、休日はなるべく外出しリフレッシュするようにしています。

◆ 現在の夢は？

子供を健やかに育てたい。

◆ 将来の展望

子供が自立したら、ドイツに住みたい。

後輩へ

◆ 大学でやっておいたらよかったと思えること

研究以外でも、現在の生命科学技術を取りまく産業や政策の状況についてもっと勉強をしておけば良かったと思います。

◆ その他なんでも、後輩に伝えたいこと

博士課程での生活は日々の実験ばかりに追われがちになってしまうかと思いますが、是非皆さんには、在学中にしっかりとサイエンスに向き合うと同時に、大学の教育プログラムにもしっかりと取り組む事で自分の価値を高め、将来的に柔軟な選択ができるように準備をしていただければと思います。

連絡先 E-mail：ytakahashi@dow.com